
令和5年度
阪神北☆夢づくり応援事業事例集



阪神北県民局県民躍動室県民課

令和5年度 阪神北☆夢づくり応援事業事例集 目次

No	市町	団体名	事業名称	ページ
1	伊丹市	with LOCAL実行委員会	Africa with LOCAL2023	1
2	伊丹市	食の未来を創る会	いたみおーがにつく市	5
3	伊丹市	男性の地域社会デビューを応援する会	パンづくり男性ボランティア養成事業「パンダ・プロジェクト」	10
4	伊丹市	いたみハロウィンツアー実行委員会	いたみハロウィンツアー	15
5	宝塚市	一般社団法人地方創生パートナーズ	空き家・空き地の未然対策による持続可能なまちづくり事業	19
6	宝塚市	一般社団法人いきがいがし	こもりむしによる、ぐるりを広めようプロジェクト	21
7	宝塚市	自然の学びの会	阪神地域の自然、里山及び文化と歴史をエコツアー体験を通じて見聞を深めてもらう	23
8	川西市	多田東コミュニティ自主防災会	多田東地区災害小史の作成活用並びに防災ハイキング	26
9	川西市	まちの宝物サポート隊	まち歩きマップで川西の魅力を再発見！	29
10	川西市	NPO法人コクレオの森	くろかわさとやまマルシェ	35
11	川西市	特定非営利活動法人しゃらりん多田東	しゃらりん青空マーケット	37
12	川西市	サークルささるんと	子どもの生きる力を育む子育て応援事業	40
13	三田市	アートシティさんだ研究会	地元作家発掘プロジェクト 佐崎紘一展	46
14	三田市	あかしあ台体育振興会	春のあかしあバスツアー 緑と花と海を感じる1日旅 秋のあかしあバスツアー 兵庫の歴史と魅力再発見の1日旅	50
15	三田市	ふれあい大会実行委員会	ふれあい大会	56

事業名		(Africa with LOCAL2023)					
団体名	with LOCAL 実行委員会			代表	松尾 誠介		
協働団体							
活動地域	伊丹市						
事業の目的・趣旨	<p>「異なるルーツを持った子ども達が自己肯定をもって過ごせるように」をテーマとし、近年増加傾向にある在住外国人だけでなく近い将来確実に増えるであろうその子ども達、いわば「肌の色だけが違う子ども達」が地域に馴染めるように、アフリカンおよび海外をルーツにもつ人々とのアートおよび通訳配置やダンスなどによる「言語のいらない国際交流」を行う。またアートに限らずマルシェやファッションショーなども開催し、そのコンテンツと雰囲気に触れることでグローバル意識を育む。また実行委員会に在住外国人も参加予定で、ただその場に人を集めるのではなく運営の場面から地域共創を行う。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 2023年6月3日 12:00-18:30 ・開催場所 伊丹三軒寺前広場 〒664-0851 兵庫県伊丹市中央2丁目9-29 ・内容 マルシェ/音楽/ダンス/ファッションショー/ワークショップなどステージ付のマルシェ方式で開催予定 ・参加者 伊丹市民および阪神北からの参加者を中心に、およそ1,500人が参加 在住外国人も多く来場 						
スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要		参加人数(人)	
		スタッフ	一般参加者				
	5	4	25	実行委員打合せ		15	
			4	イベント開催告知リリース		3	
			4	ファッションショー/マルシェ出店公募開始		3	
			5	実行委員打合せ/各種対応協議		15	
			5	実行委員打合せおよびプレショー		10	
			5	ファッションショー/マルシェ公募終了		3	
			5	各種リハーサルおよびコンテンツ内容確認		5	
			5	最終制作確認/各所ご挨拶		3	
			6	前日準備		5	
			6	当日		15	1,500
			6	事後清掃		2	
		6	事後処理対応		4		
		6	反省会および振り返り		10		

<p>事業効果</p>	<p>6/3(土)快晴のもと、計約 30 店舗のマルシェと各ショーコンテンツを無事滞りなく開催。当日は近隣在住の方々を中心に盛況し、そこに日本在住のアフリカンも多数加わり、「ただ日本人だけが楽しむ」「ただアフリカンだけが踊る」ではなく、「共に楽しむ、共創する」という、“ローカル x アフリカ”のテーマ通りの時間を創ることができた。また怪我人や体調不良者もなく、無事開催を完了することができた。</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進</p> <p>(取組内容)</p> <p>4) マルシェ、展示や通訳スタッフの配置など、全ての世代にイベントを場としたグローバル教育および交流を目的とする。</p> <p>10) ショーやファッションなど「かっこいいアフリカ」を見せることで、差別意識による扱いの不平等を生まない意識を養う。</p> <p>11) イベント内に通訳を設置、またダンス交流などで交流を楽しみ、将来確実に増加するその「肌の色の違う子ども達」、彼らが環境や差別意識による影響で非行に走り、都市の治安を悪化させることのないよう地域にグローバリズムを根付かせる。</p> <p>17) 統計がある訳ではないものの、多くの人口があるにもかかわらず在住外国人が地域に貢献および関わる機会が現状ほぼないように感じている(在住外国人が地域に関わるキッカケもないように感じている)。そこをこのイベントに参加および実行委員としてかかわることでそこを打破し、以降の地域間交流やパートナーシップに繋げたい。</p>	<p>(効果)</p> <p>4) マルシェ/展示はもちろん、通訳スタッフの活躍によりトークショーや交流の深まった場面が見受けられた。また老若男女問わず幅広い層が来場し、キッズエリアを設けたことで子ども達もアフリカンと共に楽しむ様子が見られた。</p> <p>10) ダンスや音楽などのコンテンツを通じて、「かっこいい/楽しいアフリカ」を魅せることができた。</p> <p>11) 前回と同様ではあるが、イベント以降、開催地の伊丹市に対してアフリカンおよび在日外国人から「伊丹に住みたい」との言葉を多くいただけることが多かった。これを機に交流を始めた日本人 x アフリカンも多く見受けられた。</p> <p>17) アフリカンに限らず多くの在住外国人にイベント参加だけだった印象。普段触れ合うことのできない彼らと接することができ、いずれは彼らが中心となった「本物の異国文化コンテンツ」が街に根付くことを期待したい。</p>

	2 阪神地域ビジョン 2050 の実現	
	<p>(取組内容)</p> <p>4) イベント内に通訳スタッフの設置やダンス交流など、言葉が通じなくてもできる交流によって、「国籍」「ルーツ」「肌の色」による偏見や距離を感じることをなくす。</p> <p>10) 在住外国人にも実行委員にて関わっていただくことにより、自分の地域にもともとあるグローバルイズムを確認していただく。</p> <p>14) マルシェ/ダンス/音楽/ファッションショーなど、さまざまな異国アートに触れていただく。</p> <p>17) シンプルにイベントによる日常の賑わいを創出し、かつ以降のグローバル意識と「異国をルーツに持つ友人」を参加者および関係者に作っていただく。</p>	<p>(効果)</p> <p>4) 通訳スタッフによる交流の促進、ダンス/ショーコンテンツ交流による言葉のいらない国際交流、とりわけこのイベントを機に交流を始めた日本人 x アフリカンも多く見受けられた。</p> <p>10) 今回 3 名ほど実行委員としてアフリカンにかかわっていただき、以降も関わっていただく予定。次回はこのイベントを通じて興味をもった地域の方をより引き合わせたいと考えている。</p> <p>14) マルシェ/ダンス/音楽/ファッションショーを無事開催。怪我人もなく、各チームおよびテクニカルスタッフのサポートと演者様の努力もあり、盛況のもと完了することができた。</p> <p>17) 今回は前回のおよそ倍数ほどの来場があった印象。子ども達 x アフリカンの交流や、伊丹市および来場者より「次回はいつですか？」と沢山の声をいただいただけことなど、地域に対して一定の効果はあったと感じている。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>当日および準備段階では人員不足を感じる場所があり、地域の有志の方々の協力もあってなんとかスムーズに開催できたものの、スタッフの組閣およびそのシステム構築は次回の課題と感じている。</p> <p>また大きな事案にはならなかったものの、一部出店者と来場者(アフリカン日本人ともに数名)がイベント終了後に会場そばの飲食店で騒ぎ、騒音について近隣にお住まいの方が警察に通報するという事態が起きたとのこと。すぐに現状を確認し、該当のお店および近隣のみなさまにはお詫びとご挨拶をさせていただいたものの、「アフリカンが騒ぐ=Africa with LOCAL のスタッフが騒いでいる」という認識の方もいて、誤解は解けたものの異国文化に関わる以上、例えば今回であれば「終了後は全関係者を一旦会場から退場させる」など、通常のイベント以上に配慮する必要があると感じた。</p> <p>現状多くの方々から次回開催を望む声が上がっており、その際はより上記の部分を徹底し、クオリティはもちろん、近隣の迷惑と怪我人のないよう、開催していきたい。</p>	

(活動状況写真)



団体名 with LOCAL 実行委員会

団体設立 西暦 2022 年 2 月 1 日

活動分野 国際交流 まちづくり

設立目的 地域活性化およびグローバル化の素養をテーマとした各種事業を展開し、それらを次世代を担う青少年の健全育成と、近い将来必ず増加が予想される「肌の色の違う子ども達」を地域がより受け入れやすくすることをミッションとして行うことで、市民のみならず共に豊かな未来を繋いでいくことを目的とする。

事業名		(いたみおーがにつく市)	
団体名	食の未来を創る会	代表	西浦有衣子
協働団体	食 de つながろ		
活動地域	兵庫県伊丹市		
事業の 目的・趣旨	<p>伊丹市の南にある稲野公園は、週末になると親子連れが訪れる地域に愛されている公園である。全ての人を繋ぐ「食」を通して、多世代が交流する活気あるまちづくりを目指す。一方、日本において「食」をとりまく環境は大転換の時を迎えている。つまり、農業人口の減少で耕作放棄地は拡大し、さらに日本全体の人口減少の加速により、食料自給率は今後さらに落ちこむことが懸念される。人と環境にやさしい農業は手間暇がかかる、その想いを大切にして作る人と、都市の食べる人が顔の見える関係になることで、「食」について共に考え行動し、地元食材を買い支えることの大切さや未来を担う子どもたちの健康とその可能性のための持続可能な環境について考えるきっかけとする。</p>		
事業内容	<p>「いたみおーがにつく市」 開催日時:2023年11月19日(日) 開催場所:伊丹市 稲野公園(自転車公園) 開催内容: ・ 阪神地区を中心に、兵庫県近隣地域の、人と環境にやさしい農作物やその加工品の出店・販売をしてもらう。 ・ 本部ブースでは、都市市民の農業への関心の高まりに応じて、都市農業への援農や、近隣農村へのツーリズムなどの情報を提供する。 ・ フードロスについて取り組む団体のブースでは、家庭で購入しすぎた食品を期限切れになる前に寄付してもらうことや、フードロスの現状について、循環型の社会についての消費者啓発を行う。 ・ 地球上には約8億人の飢餓に苦しむ人々がいると言われていたことから、飢餓救済への募金、また、国内の緊急食糧支援や安全な食と切り離せない環境保全への募金を募り、「食」を通じた社会貢献、助け合いの心を育む機会とする。</p> <p>・ 阪神地域への協力依頼 阪神北県民局:チラシ配布、配架 自治協議会:チラシの掲示 有機農家、有機食材加工事業者:出店協力 企業(肥料会社):チラシの配布 近隣保育園(私立二葉幼稚園、公立こぼと保育園):チラシ掲示、配布</p> <p>・ 兵庫県域 養父市有機農家、有機食材加工事業者:出店協力 養父市:情報提供</p> <p>・ フードロスに取り組む市民団体「食 de つながろ」:ブース出店、啓発活動協力 ・ 実行委委員会の立ち上げ ・ 「いたみおーがにつく市」の開催</p>		

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	一般参加者
スケジュール	5	4	26	執行部打ち合わせ	5	
	5	5	8~31	阪神地区内各所へ出店依頼のため訪問	1~2	
	5	5	18	第一回実行委員会 開催概要 出店者情報共有	10	
	5	6	1~2	養父市内有機農家関係構築と学びの為の訪問	3	
	5	6	14	養父市教育委員会事務局、農政課、有機農家との面談	6	
	5	6	15	ボランティアスタッフ打ち合わせ	11	
	5	6~7		阪神北県民局、伊丹市後援申請並びに公園使用許可申請	1	
	5	7	20	第二回実行委員会打ち合わせ 進捗確認	10	
	5	8	6	養父市訪問 有機農家見学、打ち合わせ、調整	10	23
	5	8	8	養父市訪問 有機農家見学と5者面談(県、JA、養父市、伊丹市、民間)	7	
	5	8	17	執行部打ち合わせ ふりかえりと進捗	5	
	5	9	14	執行部うち合わせ 調整	5	
	5	9	30	三田市訪問 有機圃場見学、打ち合わせ	2	
	5	10	19	第三回実行委員会とボランティアスタッフ全体打ち合わせ	10	
	5	11	12	執行部打ち合わせ 最終確認	4	
	5	11	19	開催当日	12	500 超
	5	11	19	第四回実行委員会 報告・反省会	12	
	5	11	21	執行部打ち合わせ 実績報告書作成と来年について	6	

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」はすべての世代に関係するので多世代交流ができた。ダンスパフォーマンスを取り入れたことで特に子どもたちが喜び、子どもが喜ぶことで親世代、祖父母世代が笑顔になり、にぎわった。 ・開催前から市政広報などで知った人から野菜販売への問い合わせがあり、有機野菜への関心の高さが顕在化した。 ・市行政関係者の市への訪問により、活気のあるまちづくりの事業として今後連携し、別の場所でも行っていく方向となった。 ・生産者の顔が見えることで食べ物の由来、ストーリーにまで思いを馳せる機会となり、人の健康や環境に関心を向けていきたいという声があった。 ・この事業をきっかけに、都・農のそれぞれの行政同士が其々できる役割分担と現状の認識を持つことができ、未来へ繋がる関係性を構築することができた。「オーガニックビレッジ宣言」に取り組む市町の機運を高める一助となった。 ・農村型自治体、農地見学により、人口減少を身近にとらえ、子どもの未来について考える機会となった。 ・近隣の保育園の食育活動に繋がり、有機農業先進県養父市産の有機野菜を子どもたちが食べる機会を創出できた。 ・知事が意欲を見せる有機農業推進において、給食への公共調達という文言が、今年度はじまった(知事フル参加)検討会においてとりあげられているが、有機農産物を増やしたいという県の方向性と今回の事業の内容はそのことと連動させており、今後は阪神地区有機農業のPR、さらに有機農業先進県養父市だけでなく、兵庫県全体を視野に入れ有機農業への取り組みについてモデルとなるような他市にさらに訪問していき、出店協力の拡大を依頼していきたいと考えており、阪神地区の農×食×賑わいと、県の有機農業推進に資するイベントに成長していける一歩だったと考えている。 	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進</p> <p>(取組内容) 地産地消の推進 有機農業への関心を引き出す (目標番号：2)</p>	<p>(効果) 地元食材による和食文化＝伝統的食文化＝食育 フードロス、フードマイレージへの啓発 環境への配慮 持続可能な地域社会</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現</p>	
	<p>(取組内容) 地域を超えた賑わいの創出、多世代交流及び地域資源の掘り起こし (シナリオ：9、16)</p>	<p>(効果) 兵庫の東の玄関口である阪神地区において、有機農業先進県である兵庫の多彩な農と人を繋ぎ、関係人口を創出していく布石となった</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>有機農家、有機農作物がまだまだ少ない。 消費者が有機農業について認識を深めることが必要。 運営費不足の解消及び協力者を増やす。</p>	

(活動状況写真)

※別紙参照

団体名 食の未来を創る会

団体設立 西暦 2021 年 5 月 7 日

活動分野 食育・環境

設立目的 「ケミカルフリーな食と農」について見識を広げていくことを目的とする。

2023.6.1～2 養父市訪問

有機農家との関係構築と出店依頼等調整について。

有機農業圃場の作業について研修を受ける。有機 JAS の生産物について生産から流通の基礎を学ぶ。



2023.6.14 養父市訪問

実行委員でもある阪神地区各市の代表たちと。食育の取り組みを教育委員会事務局給食センターにて、オーガニックビレッジ宣言について有機農業の現状と計画を農政課より聞く。有機農家との交流と、出店依頼に向けた関係構築・調整。



8.6 養父市訪問

阪神地区各市の消費者、これから県下で都農共生に取り組もうとする関係者、実行委員と共に養父市訪問。有機農家との交流と圃場見学。将来的を見据えた関係性の構築、出店への継続的な協力を求める。



8.8 養父市訪問

伊丹市給食センター所長と養父市農政課との面談を通じて、市民レベルのマルシェ開催への後押しだけでなく、公共調達である給食を活用し都農共生のパイプを太くしていき、豊かな兵庫県において地産地消と有機農業拡大に資する役割の確認と現状の情報共有。有機農業の生産者訪問、圃場見学と有機農業についての学び。継続した有機農産物の供給と消費者への意識醸成等有機農業のこれからについて県・JA・養父市・伊丹市・一般市民5者にて協議。



9.30 三田市訪問

都市型自治体が多い阪神地区の中で、農村型自治体に近い豊かな三田市へ。有機稲作指導者との面談、有機農業圃場を見学。将来に繋がる継続的な出店協力等有機農作物のこれからの関係性構築について協議。



事業名 (パンづくり男性ボランティア養成事業「パンダ・プロジェクト」)			
団体名	男性の地域社会デビューを応援する会 (略称だんデー会)	代表	土井 一雄
協働団体	伊丹パンダチーム		
活動地域	伊丹市		
事業の目的・趣旨	<p>当初は、女性に比べ極めて低い男性の地域社会活動への参加率を高めることをメインの狙いとして始めたパンダプロジェクトですが、お子様と一緒にパンづくりを体験したいという女性の方々からの要望に応じて参加いただくようにしましたので、子どもたちの笑顔が加わった地域の新たな多世代交流の場として定着してきました。この多世代交流効果で、低迷気味の自治会活性化に貢献しようと、新たな活動を始めています。</p>		
事業内容	<p>●2024年5月から奇数月の第4日曜日に午前中に、メンバーの自主練を兼ねた『パンづくり教室』午後から、冒頭にミニセミナーを行う『パンダカフェ』を定期開催。 開催場所: 伊丹いきいきプラザ調理室 開催時間: 朝9時から17時 パンづくり教室に、パンづくりを学びたいという女性やお子様方の参加を認めたことにより、午後からのカフェも、お子様からシルバーまで参加した多世代交流の場になりました。</p> <p>●家庭用オープンで出来るパンづくりをプロから学び自主練で技を磨く『パンダ3期生養成講座』を開催。 開催場所: いきいきプラザ調理室 開催時期: 令和5年10月から11月 プロから学ぶ講座2回、自主練習日2回 講師 伊丹の”ガオさん家のパン屋”のオーナー・シェフ井上 賀雄氏 3期生2名は、12月より伊丹パンダチームに参加。ボランティア活動を始めています。</p> <p>●視覚障がい者・古川やすひろさん主催サラダドレッシングの障がい者のためのパンづくり教室へのスタッフ支援活動も続けています。</p> <p>●養成講座の修了式を兼ねて、いきいきプラザで開催する予定だったパンダクリスマスカフェを、助成金打ち切り後の活動継続策のひとつとして、伊丹市まちづくりプラザとの共催という形で開催。 イベントへの集客力を高めるために、パンづくり教室に加えて、だんデー会の土井が、別件で親しくなった豊岡の方から、11月20日に青竹を送ってもらい、いきいきプラザで活動中のDIYグループくんとんかちボランティアにも協力いただき、カフェ会場で飾り、その後に自宅クリスマスの飾りとしても楽しんでもらえる『竹灯籠づくり教室』を12月10日午前中に開催。イベントの正式名は『まちづくりプラザ交流カフェ・パンダ竹灯籠クリスマス・カフェ』にしました。 なお、本イベントでは、まちづくりプラザとの連携だけでなく、パンづくりの熟成タイムに子どもたちを飽きさせないよう、なないろ同好会に協力いただき、マジックショーを開催、さらに午後からのカフェタイムでも、スワンホール登録のマジックグループ、なないろ同好会の音楽グループにも協力いただくなど、イベント開催時のネットワーク力の強化にも努めました。来年も続けてほしいとの声も多く、クリスマス・カフェとして、継続したいと考えています。又、本年度の竹灯籠づくり教室の竹は、豊岡より送ってもらいましたが、次年度よりは昆陽池公園の竹林の竹が使えるよう手配しました。</p> <p>●ピザカフェの開催 お子様からシルバーまで多くの参加者が集まり、多世代交流も図ることができ、大成功でした。</p>		

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	一般参加者
スケジュール	5	4	26	だんデー会定例会 令和5年度活動方針検討	6	
		5	28	いきいきプラザ調理室でパンダカフェ	4	10
	7	23	いきいきプラザ調理室でパンダカフェ	4	12	
	9	2		だんデー会定例会 第3期パンダ養成講座の件	6	
		24		パンダカフェ	4	12
	10	1		第3期パンダ養成講座プロ指導日	2	3
		15		養成講座 自主練日	1	3
		26		豊岡で竹灯籠教室用の青竹の件で打ち合わせ	1	
	11	5		養成講座プロ指導日	2	3
		19		養成講座 自主練日	1	2
	12	20		豊岡より青竹届く	2	
			10		まちづくりプラザ交流カフェ・パンダ竹灯籠 クリスマスカフェ開催	20
		20		だんデー会定例会 R5の反省と R6事業計画検討	6	
	6	1	28	ピザカフェ	10	50

<p>事業効果</p>	<p>パンダ養成講座も 3 期目を迎え、修了生で構成する伊丹パンダチームも、自立できる体制が整った。パンダカフェの定期開催、ピザイベントの運営などにより、一般参加者も R6 年度を迎えて急速に増え、多世代交流効果も、徐々にではあるが注目されだした。この多世代交流効果を、いかに低迷気味の自治会の活性化に役立てるか、助成金のない状態での事業継続を、どのように図るかが、今後の課題だが、解決への道筋は見てきたように思われる</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進 (取組内容) パンづくり教室に女性、お子様の参加を求めたことにより、パンダカフェが、地域の多世代交流の場になった</p>	<p>(効果) 世代を超えた地域住民相互の話し合いの機会を創造し、地域活性化に貢献できたのでは。〈目標 1 1〉</p>
<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現</p>	<p>(取組内容) 多世代交流</p>	<p>(効果) 世代を超えて繋がる〈シナリオ 9〉 子育て世代が住みたいとなるような居場所づくりを目指したい</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>パンダ・プロジェクトの当初の狙いであったリタイア男性の地域社会参画率をいかにして高めるか、解決への道を探る活動は、今後も粘り強く探り続けていきたいと考えている。と同時に、パンダチームの活動を通じて、地域社会の貢献できることが見つければ今後も柔軟に対応していきたいと考えている。</p>	

(活動状況写真)

別紙参照

<p>団体名</p>	<p>男性の地域社会デビューを応援する会</p>		
<p>団体設立</p>	<p>西暦 2019 年 3 月</p>	<p>活動分野</p>	<p>リタイア男性支援、多世代交流促進</p>
<p>設立目的</p>	<p>パンづくりボランティアという人生百年時代の新たな生きがいをリタイア男性に提案し、地域社会活動への男性の参加率を高める事を目指して設立したが、地域の多世代交流にも効果がある事がわかり、その面での活動を深めている。</p>		





事業名 (いたみハロウィンツアー)			
団体名	いたみハロウィンツアー実行委員会	代表	鹿嶋将慈
協働団体			
活動地域	伊丹市中心市街地		
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが街を好きになる、街のお店を好きになるきっかけづくり。ツアー（お店巡り）では、子どもたちやその保護者（大人）が街のお店・事業所や街を好きになるきっかけづくり。街やお店・事業者を知り、お店の人・事業者との交流の機会を提供することで、街への愛着が深まるきっかけを創出する。様々な業種のツアー協力事業者を巡ることで身近に多様な職業を感じてもらえる教育的機会を作る。 街のにぎわい再構築。マーケット会場では、非日常のスタイルを楽しみながら誰でも参加できる内容で、子どもから大人まで、家族でも大人だけでも楽しめる機会やコンテンツを提供することで、憩いの場、思い出づくりの場を創出する。中心市街地のみならず中心市街地域外の個店の PR の場づくりにもなる 		
事業内容	<p>中心市街地の事業者と連携し協力をいただきながら、事業の案内や開催準備を行った。市民を中心としたボランティアスタッフと共に当日開催を運営した。</p> <p>「いたみハロウィンツアー」R5 年 10 月 28（土） ツアー：13:00～15:00／中心市街地の個店・事業者 マルシェ&ステージ：9:00～15:00／三軒寺前広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ツアー（お店巡り）では、中心市街地の個店・事業所を子どものグループが巡り trick or treat の合言葉でお菓子を貰う。 対象は未就学児童と小学生。 1 グループ子ども 10 名以内と保護者。 別のイベント会場とのコラボレーションも行いルートに含む。これによりこれまで出向いてなかった方面に新ルートを設定。 ボランティアスタッフを増員のうえ（約 4 倍）、グループごとにスタッフを配置し、より安全面に留意した。 ツアーに参加していない親子も楽しめるよう、三軒寺前広場にてハロウィンマーケット（主にお菓子や雑貨の物販・ワークショップブース）と子どもたちやファミリー層に楽しんでもらえる内容でのステージイベントを開催。 仮装した子どもたちのファッションショーを新たに行った。 		

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）		
					スタッフ	一般参加者	
スケジュール	5	8	20	第一回企画ミーティングツアー協力店（事業者）	3		
	5	9	5	伊丹市協賛申請	3		
	5	9	12	第二回企画ミーティング	6		
				出店者募集開始			
				ステージ出演者交渉開始			
				以降、随時チャットグループでも連絡、情報共有	35		
		5	9	22	第三回企画ミーティング	5	
		5	9	30	第四回企画ミーティング 出店者締め切り	3	
		5	10	15	第五回企画ミーティング	8	
		5	10	22~27	最終準備	3~12	
		5	10	28	いたみハロウィンツアー当日	40	1000
		5	10	29	メール等で情報共有	35	
		5	11	15	振り返りミーティング	12	
	5	11	30	アンケート取りまとめ、報告	3		
	5	12	30	写真の公開	3		

<p>事業効果</p>	<p>ツアー参加者からは、子どもたちが楽しめたことはもちろん、知らなかったお店（事業者）を知れたことや行ったことがなかったお店（事業者）に行けたこと、お店（事業者）と交流できたことについて多数感想をいただき、多くの保護者から喜びと感謝の声があった。</p> <p>初協力もあったツアー協力店（事業者）からは、子どもたちの笑顔や子どもたちとのふれあいを喜んでくれたことのほか、店（事業者）を知ってもらうきっかけになったこと、日頃のターゲット層以外の方々と出会えたこと、まちが活気づいたこと、まちや市民・住民に貢献できたといったことで多くの店（事業者）から喜んでいただけた。</p> <p>都市部ではないまちで、仮装して遊びに来れ、「ちょうどよい」規模と内容がよいと好評で、インターネット検索でホームページを見つけて足を運んできたという市外近隣のまちからの来場があった。楽しみにしてくれていた方も増えている。</p> <p>ツアー協力店、マルシェの出店者やステージ出演者、ボランティアスタッフがハロウィン仕様でそれぞれに当日を楽しんだことで、より盛り上がった。仮装の子どもたちのファッションショーは初めての試みだったが子どもたちが輝いていてとてもよかったと思う。ツアーに参加できない子どもたちも仮装の上で来場できる機会を設けられたことはとてもよかった。</p> <p>まちや事業者の魅力再発見の機会、楽しい場の提供、まちの新たなにぎわい創出ができ、いい思い出づくり、活気づくりにもなったと思う。</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進</p> <p>(取組内容) 街の良い思い出づくりや街を知る機会を創出、提供。(目標番号：17)</p>	<p>(効果) 商店・事業者との交流や街歩き、楽しいイベントの体験により、子供達に自分の住む街を好きになってもらえるきっかけとなり、街への愛着に繋がった。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現</p> <p>(取組内容) 伊丹市の中心市街地の商店・事業者を巡るツアーと三軒寺前広場にて飲食店や小物雑貨店によるマルシェとステージイベントを開催。(シナリオ：17)</p> <p>(効果) ツアー、広場のマルシェ・ステージに多数参加、来場いただいた。ツアーの商店・事業者の好意的な協力、マルシェの出店者やステージ出演者のイベントのコンセプトに沿った場の盛り上げにより、中心市街地のにぎわいを創出できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ツアーの参加申込方法を改善できたのはよかったが、少し混乱を招いたので、引き続き、よりわかりやすい案内や方法を提供したい。 ● ツアーの受付とマルシェ・ステージイベントが同じ会場だったが、準備不足もあり混乱が生じた。併設しているメリットは大いに感じたので、次回は反省点を活かしてよりよい場作りをしたい。 ● 年々認知度が上がり注目度も高まってきているので、創意工夫を凝らし期待に応えていくことで、商店・事業者との交流、まちなかのにぎわいづくりに活かし、まちの発展や住民・市民のまちへの愛着づくり、伊丹のファンづくりにさらに貢献したい。 	

(活動状況写真)



団体名 いたみハロウィンツアー実行委員会

団体設立 2023年4月1日

活動分野 ハロウィンイベントの企画・運営

設立目的 伊丹の街をより面白く楽しい街にする、伊丹のファンづくり。
伊丹市内で老若男女を問わず面白い・楽しくなるイベントの企画運営を行ない、地元住民と商業者との新たな出会いや絆を深めることを目的とする。

事業名		(空き家・空き地の未然対策による持続可能なまちづくり事業)					
団体名	一般社団法人地方創生パートナーズ	代表	代表理事 三坂友章				
協働団体							
活動地域	伊丹市、川西市、三田市、猪名川町						
事業の目的・趣旨	<p>少子高齢化に伴う人口の減少が進む中で、空き家・空き地等の管理や処分を検討する人が増加することが見込まれる。こうした空き家・空き地に関わる様々な課題をその所有者だけの問題としてではなく地域全体の問題として捉え、空き家・空き地等の適切な管理の普及活動を行うことで持続可能なまちづくりへと繋がる活動をするを目的とする。</p>						
事業内容	<p>①セミナー 空き家・空き地等の管理や処分に関心のある自治会や市民等に対し、法務局職員や司法書士、行政書士等の法律の専門家や不動産の実務に携わるメンバーが空き家・空き地の未然対策、早期に空き家の適性管理を行う必要性について講演を行う。 法務局講師による「相続・空き家対策セミナー」 ～新制度の概要と相続・空き家対策セミナー ①法務局の新しい制度（講師：法務局担当者） ・国に土地を寄付できるの？（相続土地国庫帰属法） ・相続登記をしないとどうなるの？（相続登記義務化） ②自筆証書遺言書保管制度（講師：法務局担当者） ・その遺言書、法務局が預かります ③空き家未然対策のポイントは？ （講師：一般社団法人地方創生パートナーズ所属法律専門家、不動産業者） ・法律専門家・不動産業者からみた空き家対策</p> <p>②個別相談 空き家・空き地等の管理や処分に関心のある自治会や市民等に対し、司法書士、行政書士、土地家屋調査士等の法律の専門家や不動産の実務に携わるメンバーが空き家・空き地の未然対策、適正な管理方法について、個別相談を行う。</p> <p>③ホームページ、SNS 等による情報の提供 空き家・空き地に関する最新の情報や、役立つ情報をオンラインで発信することにより、より広範囲の啓発活動を行う。</p>						
スケジュール	実施日（年-月-日）			事業概要		参加人数（人）	
						スタッフ	一般参加者
	5	4	20	セミナー＆個別相談会 （伊丹市東リホール）		6人	25人
	5	5	13	セミナー＆個別相談会 （猪名川町文化体育館）		6人	30人
	5	5	22	セミナー＆個別相談会 （川西市アステ市民プラザ）		6人	12人
	5	6	11	セミナー＆個別相談会 （三田市まちづくり協働センター）		6人	24人
			ホームページ、SNS 等による情報発信				

<p>事業効果</p>	<p>今年度は、空き家対策と所有者不明土地対策（①相続土地国庫帰属制度、②相続登記義務化、③自筆証書遺言書保管制度）等を行った。今回開催した波及効果として、阪神北県民局管轄だけでなく、阪神南県民センター管轄（尼崎市、西宮市）、大阪府の市にも影響を及ぼした。特に4月27日に施行された一定の条件で国に土地を帰属できる「相続土地国庫帰属制度」の取組は、国会の委員会に取り上げられるなど波及効果がでた。また、法務省からもセミナーの後援申請を取得することができた。空き家、空き地対策は、いかに広く多くの人に周知してもらうかが重要であり、その効果は大きかった。</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進 (取組内容) 空き家、空き地未然対策の周知活動</p>	<p>(効果) 法務局、阪神北県民局、市町の協力により、広報紙やチラシの設置、HP にアップ等広く周知活動を行えた。特に相続土地国庫帰属制度の相談、申請件数・相談件数は全国的にみても上位の成果を挙げている。(目標番号11)</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン2050の実現 (取組内容) 空き家、空き地の未然相続対策の周知活動</p>	<p>(効果) 空き家、空き地をどのように相続していくのかを考えることによって世代間を越えてつながるまちづくりのきっかけを提供した。(シナリオ9)</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>セミナー後の参加者アンケート結果を見ると、国や兵庫県等は空き家、空き地対策として法改正や各種制度を設けているが県民への周知ができているとはいえないということがわかった。また、制度を知れば、活用・検討したいという人が増えるということもわかった。いかに県民にわかりやすく周知していくかが重要であり、今後も周知活動を行うことで空き家、空き地対策を行って行きたい。</p>	

(活動状況写真)



伊丹市セミナー (4/20)



猪名川町セミナー (5/13)



川西市セミナー (5/22)



三田市セミナー (6/11)

団体名 一般社団法人地方創生パートナーズ

団体設立 西暦 2020 年 6 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的 国、自治体、事業者及び NPO 法人等各種団体との連携・協力により、空き家・空き地対策等まちづくりの相談・支援をすることにより、まちづくりの推進を図ることを目的とする。

事業名 (こもりむしによる、ぐるりを広めようプロジェクト)

団体名	一般社団法人いきがいがし			代表	岡本康子	
協働団体						
活動地域	宝塚市					
事業の目的・趣旨	<p>物々交換でモノをシェアする無料イベント「ぐるり」を実施します。 まだ使えるのに捨てられる物が、世の中に溢れている中で、捨てるのではなく、シェアすることで、地球にも人々の幸せにも繋がると考えて、ぐるりの活動を始めました。 このイベントを「ひきこもり当事者」がボランティアスタッフとして参加、運営して進める点が本事業のポイントです。ひきこもり当事者には、他者から感謝される体験が少なく、やりがいを感じる取り組みにつながりにくい事があります。 体験が少なく、やりがいを感じる取り組みにつながりにくいことがあります。 自分にとって不要なものが誰かにとって必要なものに繋がることを目の前で実感できる場としての「ぐるり」を通して、あげる人ももらう人も喜んでもらえる、そんなコミュニティの場になる可能性を目指して、取り組みます。</p>					
事業内容	<p>0円お譲り交換会（ぐるり宝塚）の開催 開催日時 4. 6. 8. 10. 12. 2月 開催時間 11～15時または16時 開催場所 宝塚市立文化芸術センター、宝塚市立中央公民館、宝塚市立西公民館 参加者 下記スケジュールに記載のとおり</p> <p>広報の方法に関しては、SNS(Facebook、Instagram、Twitter)での広報と、チラシは宝塚市内の公民館やボランティア団体、西宮市社地域自立支援協議会のみやっこ会議・ほくぶ会などに配布した。</p>					
スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	一般参加者
	R5	4	29	ぐるり宝塚開催	15	約150
	R5	6	18	ぐるり宝塚開催	20	117
	R5	8	11	ぐるり宝塚開催	20	70
	R5	10	8	ぐるり宝塚開催	16	約300
	R5	12	3	ぐるり宝塚開催	13	121
R6	2	17	ぐるり宝塚開催	16	164	

<p>事業効果</p>	<p>居場所から次の一歩がなかなか踏み出せないひきこもり当事者の方に、ぐるりの運営に関わってもらうことにより、仕事って本来喜んでもらうことだったり、思っているより怖くないと実感してもらうことを期待していたが、実際自ら進んで受付やワークショップの当番をする方が居たりして回を重ねるごとに動けるようになっていったように感じます。無料のぐるりを行う事で、モノの交換で終わるのではなく、心の交換がうまれることを、ぐるりの参加者、そしてボランティアスタッフとして関わる当事者の方双方に感じてもらい、繋がりができていけばと考えていましたが、実際交流が行われていたり終わってから話が尽きない方も居て、一緒に何かをすることによって仲間意識や連帯感が生まれたように感じます。 今回イベントの受付ブースにひきこもり・不登校のチラシを置いたりしましたが参加者の方からの評判も良く、一般の方への認知度を高めることに貢献できたと思います。</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進 (取組内容) 物々交換会の開催</p>	<p>(効果) 物を捨てるのではなくシェアすることで地球にも人々の幸せにも繋がる効果をもたらしました。 (目標番号：12)</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現 (取組内容) 物々交換会・楽器の演奏・カラオケ</p> <p>(効果) みんながつながるやさしい町の実現に貢献できたと思います。 (シナリオ：10)</p> <p>毎回 1000 点ほどの物品が持ち込まれて、300~500 点ほど持ち帰る状態になっているため物品の保管場所に困っています。倉庫を借りる資金がないため、無料で借りられる場所や資金援助してくれる方が現れることを望みます。</p>	

(活動状況写真)



団体名 一般社団法人いきがいがし

団体設立 西暦 2020 年 10 月 1 日

活動分野 ひきこもり当事者の交流会、居場所

設立目的 「こもりむしの会」は阪神地域でも数少ない「ひきこもりの方の居場所」ということもあり、活動を続けていくなかでひきこもり支援の必要性和課題も見えてきたことから、2020年10月に「一般社団法人いきがいがし」を設立。

事業名		(阪神地域の自然、里山及び文化と歴史をエコツアー体験を通じて見識を深めてもらう)				
団体名	自然の学びの会			代表	仲井 徳	
協働団体						
活動地域	阪神地区					
事業の目的・趣旨	兵庫県第 10 期ビジョン委員会「自然の学びのグループ」の組織を基礎に継続して事業を行う。阪神地域の優れた自然、里山及び文化と歴史を広く知り、地域の方々、児童に体験して頂くエコツアーを実施する事により、会員のニューツーリズム（エコツーリズム&グリーンツーリズム）に関する見識を深めるとともに兵庫県が目指す方向「阪神地域ビジョン 2050」の実現に向けて少しでも寄与していくことを目的とする。兵庫県及び志を同じくする宝塚エコネット等他グループの連携、共催、支援に心掛ける					
事業内容	2020 年度から 2 年間の VISION 委員会活動を踏まえ、2022 年度から独自でボランティアグループを立ちあげ継続推進活動を行う 年数回、構成メンバーとともに、阪神地区の自然や文化や歴史をともに体験してもらう公募ツアーで一般参加者を集め、阪神地区の魅力ある地域の見識・理解を深めてもらう【公募ツアー全 6 回開催】					
スケジュール	実施日 (年-月-日)			事業概要	参加人数 (人)	
					スタッフ	一般参加者
	5	4	16	第 13 回定例会	10	
	5	5	21	第 14 回定例会	10	
	5	5	28	ホテル観賞 (ピカピカランド)	7	
	5	6	18	第 1 回公募ツアー (池田)	9	4
	5	7	2	第 2 回公募ツアー (松尾湿原)	6	2
	5	7	16	第 15 回定例会	11	
	5	8	20	第 16 回定例会	11	
	5	9	17	第 17 回定例会	9	
	5	9	24	第 3 回公募ツアー (田能遺跡)	8	9
	5	10	15	第 18 回定例会	7	
	5	10	22	布引の滝・ハーブ園	9	
	5	11	19	第 19 回定例会	5	
	5	12	17	第 20 回尼崎下見調査	7	
	6	1	21	第 21 回定例会<AM>	11	
	6	1	21	第 4 回公募 (講演会)	11	10
	6	1	28	第 5 回公募ツアー (尼崎)	6	8
	6	2	18	第 22 回定例会	7	
	6	2	18	巡礼街道	3	
6	3	3	第 6 回公募ツアー (昆陽池)	10	21	
6	3	17	第 23 回定例会	10		

事業効果	6 回の公募ツアーで一般参加者を延べ約 50 名以上を募り、阪神地区の自然や里山、文化に触れあう事が出来た。 公募ツアーは、参加者に生涯の学びの場を提供することにも繋がり、新たな発見や気づきを与えられたと確信している	
SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果	1 SDGs の推進 (取組内容) 陸の豊かさを守ろう 生物多様性の大切さを PR する	(効果) 松尾湿原での実体験や講演会等の公募を通じて参加者にはそれなりの INPCT/新たな発見を与えた【目標 17】
	2 阪神地域ビジョン 2050 の実現 (取組内容) 自然、歴史、文化が息づくまち 人をそだてるまち 生涯学びの場を提供	(効果) 自然や文化や歴史の現場に行けば、新たな発見や感じるものがあり、参加者の今後のモチベーションアップに繋がった【シナリオ 15】
課題及び 今後の展望	□課題：①公募ツアー一般参加者の裾野を広げる事 ②阪神間の自然や文化や歴史の魅力の情報発信 □今後の展望 他の市民団体との連携を図り、阪神地区の新たな魅力づくり活動を徐々に浸透化させていきたい	

(活動状況写真)

別紙添付資料ご参照

団体名	自然の学びの会
-----	---------

団体設立	西暦 2022 年 3 月 13 日
------	--------------------

活動分野	エコツアー
------	-------

設立目的	この会は阪神地域の優れた自然、里山及び文化と歴史を広く知り、体験して頂くエコツアーを実施する事により、会員のニューツーリズム（エコツーリズムとグリーンツーリズム）に関する見識を深めると共に、兵庫県が目指す方向「阪神地域ビジョン 2050」の実現に少しでも寄与することを目的とする
------	---

第1回公募 池田の歴史文化ツアー



2023年6月18日（日） スタッフ9人＋一般参加4人
阪急石橋阪大前 9時30分集合
石橋駅～二子塚古墳～水月公園～尊鉢厄神・釈迦院
～五社神社～歴史民俗博物館

第2回公募 松尾湿原ツアー



2023年7月2日（日） スタッフ6人＋一般参加2人
JR武田尾駅 10時集合
武田尾駅～西谷夢プラザ～大原野神社～宝山寺～
宝塚自然の家～松尾湿原～旧東屋住宅～
JR武田尾駅

第3回公募 田能遺跡～伊丹スカイパークツアー



2023年9月24日（日） スタッフ8人＋一般参加9人
JR武田尾駅 10時集合
JR猪名寺～猪名寺廃寺跡～田能西公園～
尼崎農業公園～田能遺跡～伊丹スカイパーク

第4回公募 講演会



2024年1月21日（日） スタッフ11人＋一般参加10人
東公民館にて、河上先生による
“生物の多様性について”の講演

第5回公募 尼崎ツアー



2024年1月28日（日） スタッフ6人＋一般参加8人
阪神尼崎駅 10時集合
阪神尼崎駅～尼崎城～桜井神社～尼崎えびす神社
～寺町散策～尼崎信用金庫～世界の貯金箱博物館

第6回公募 昆陽池ツアー & 服部先生講演会



2024年3月3日（日）
スタッフ10人＋一般参加21人
スワンホール 2F 10時集合
昆陽池～昆虫館～講演会

事業名 (多田東地区災害小史の作成活用並びに防災ハイキング)

団体名	多田東コミュニティ自主防災会	代表	東畑 泰敏			
協働団体	多田東コミュニティ協議会 (文化・スポーツ委員会)					
活動地域	川西市多田東小学校区内					
事業の目的・趣旨	<p>多田地区は昔から数多くの災害(水害)に見舞われ、猪名川の恐ろしさを体験して来ました。高度経済成長期前までは、水害が発生しても住宅は高台に有り(一部駅周辺を除き)田畑が水に浸かる程度で済みましたが低地部が開発・宅地化された今、大災害につながる可能性があります。</p> <p>地域の災害小史を作成することにより、自分たちの街で、以前に起こった災害状況を知り、来るべき災害(1000年に一度)に備え、過去の教訓を学ぶことが必要不可欠です。又地域を散策し、地域の防災施設や水害記念碑 等を見学、浸水表示板等を確認することで防災意識の向上を図る。</p>					
事業内容	<p>・地域の文化・スポーツ委員会と連携、計画しハイキングを楽しんでいただくとともに過去の浸水状況を確認、水害の恐ろしさを浸水表示板等で確認して頂くとともに、災害小史を活用し現地説明を行う。</p> <p>・多田地区災害小史の発表会(説明)、並びに川西市防災出前講座の開催(水害編) 開催日時 : 令和5年 8月20日(日) 9時30分~11時45分 開催場所 : 多田東会館 2階 大会議室 内 容 : 多田東地区災害小史の発表並びに川西市防災出前講座の開催 (水害編) 講師 川西市 地域防災マネージャー猪股倫夫様 参加者 : 参加者39名、延べ人数51名</p> <p>・多田東地区防災ハイキングの開催 開催日時 : 令和5年11月12日(日) 9時~12時 開催場所 : 多田東地区内(集合・解散 多田東小学校 校庭裏門付近) 内 容 : 多田東地区を散策し健康増進を図るとともに、災害小史を使用し、過去の災害状況の説明を行う。又、防災設備や水害記念碑を見学、各所に設置してある浸水表示板を確認することで地域の浸水状況の確認を行い、防災意識の向上に努める。 参加者 : 80名、延べ人数105名</p>					
スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)		
				スタッフ	一般参加者	
	5	5	14	自主防災会総会(事業決定)	24名	
		6	18	川西市への協力要請・猪名川河川事務所打ち合わせ	3名	
		7	11	災害小史作成、打ち合わせ	12名	
		7	2	災害小史作成印刷、打ち合わせ	14名	
		8	28	発表会説明原稿作成	13名	
		8	6	防災会内発表会(プロジェクター)使用	12名	
		8	20	多田東地区災害小史の発表会並びに川西市防災出前講座の開催(水害編)	12名	39名
		9	27	防災ハイキング打ち合わせ(資料作成)	14名	
		9	3	防災ハイキングコース下見	13名	
		10	10	防災ハイキング資料作成打ち合わせ	14名	
		10	29	防災ハイキング準備、最終打ち合わせ	14名	
		11	12	防災ハイキング開催	25名	80名
	11	25	災害小史の発表会並びに防災ハイキングの反省会	14名		

<p>事業効果</p>	<p>多田地区は昔から数多くの災害に見舞われ、特に猪名川の洪水の恐ろしさを体験してきました。現在は、河川改修、一庫ダムの水量調整が進み、浸水被害は発生せず小康状態を保っています。</p> <p>近い将来に発生する地震や地球温暖化に伴う気象変動による集中豪雨の頻発化のことを考えれば、安心してはいられません。次々と襲ってくる災害に対し、過去の災害に関する知識と教訓について学習し、地域の特性を正しく把握する必要があるため、災害小史を作成し、防災・減災の施策に役立てることが出来た。また、防災ハイキングを実施することにより、地域の浸水状況を肌で感じてもらい、防災に関心を持っていただくとともに、秋のハイキングを楽しんで頂きました。</p>	
<p>SDGs の推進、阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進</p> <p>(取組内容) 災害史作成、説明会を開き、防災ハイキングを行うことで過去の災害を知り防災意識の向上に努めてもらう。(目標 11)</p>	<p>(効果) 災害史を学ぶことで今後こういった災害リスクが発生するかを事前に把握してもらうことで、防災意識の向上につなげた。</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現</p> <p>(取組内容) 災害史を勉強し、防災ハイキングで記念碑や浸水表示板を確認することで地域を知り、過去の災害を知り、防災意識の向上に努める。(シナリオ 12)</p> <p>(効果) 地域の災害特性を知り、災害時の個別避難計画や防災訓練に役立てた。</p>	
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>参加者を募るためポスターの全戸配布並びに、ハイキング終了後、ぜんざいをふるまうことで集客を考えたが少し参加者が少なかった。次回までに、小学校や中学校に災害小史を配布し、学校での利用等を考えて頂き、子供たちの参加、防災に対する関心を高めて頂くように努めたい。</p>	

(活動状況写真)



防災出前講座の開催（水害編）



災害小史の発表会



災害史発表会風景



災害史発表会風景



防災ハイキング下見調査



防災ハイキング下見調査



防災ハイキング説明会



防災ハイキング現地説明

団体名 多田東コミュニティ自主防災会

◆ 団体設立 西暦 1999年 5月 ◆

活動分野 防災・減災活動

設立目的 住民協働の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

事業名		(まち歩きマップで川西の魅力を再発見！)	
団体名	まちの宝物サポート隊	代表	光本 芳子
協働団体			
活動地域	川西市 全地域（会作成のマップ：北部、中部、南部）今回は主に北部エリア		
事業の 目的・趣旨	<p>市の魅力的なストーリーを再発見し磨き上げ、発信することで川西市の副題「清和源氏のふるさと」のブランディングと整合性を保つ工夫をすること。また自然、文化・歴史を軸として市民の愛着形成をめざす。市内外の方にマップを活用いただくことで健康促進と公共交通を利用促進の助けとなるようにしていくこと。</p> <p>付随する取り組みとして 2020 年より行っている文化財エリアの公園の整備活動は本年度も継続する。主な整備場所として、三ツ矢サイダー発祥の地として、市の登録文化財の川西市平野に建つ「旧三ツ矢記念館」と「源泉地室」の南側の公園の整備をする。このことで文化財エリアを美しく保つことができる。</p> <p>将来的に隣接する市とも連携を図ることの準備もしていきたい。</p> <p>宝塚市はウィルキンソンの炭酸の歴史を持っており 2020 年度の兵庫観光本部のヒトタビ HYOGO の観光事業で取り上げられた。三ツ矢サイダーの炭酸水の歴史と連携できる可能性を秘めている。（三ツ矢サイダーのロゴは川西市に拠点を置いた源満仲の故事を元に作成され、宝塚市と同様イギリス人によって炭酸を発見した歴史を持つ。）</p>		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きマップ制作（北部エリア、中部・南部エリアは増刷） ・文化財エリアの整備活動 <p>今期で第 3 弾となるまち歩きマップ作成事業は、川西市の魅力あるストーリーをマップに落とし込み、市内外の方にまち歩きを楽しんでいただける取り組みを行った。2021 年度から着手している事業で市全体を 3 つのエリアに分け作成する。2021 年は「清和源氏のふるさと探訪 第一弾 源満仲公と三ツ矢の歴史を巡る」、2022 年は第二弾「頼光四天王 金太郎、鬼退治へ！」を作成・配布を継続。北部エリアは「隠されたストーリー 満仲公と龍馬」を制作した。</p> <p>マップを紹介する代表的なイベントは 3 つの地元コミュニティと地元大学が協力して実施するお城桜まつりで 4300 人（速報値）が来場。また清和源氏まつりでも紹介予定。また第 1 弾と第 2 弾のマップ増刷をシーズン毎で行う。</p> <p>付随する取り組みとしてマップに掲載のある文化財エリアの公園等の整備活動を行った。</p> <p>R5 年度も会のまち歩きマップ委員会を中心に、地域や企業等と連携し、ゴール地点やルート検討、下見ウォーク通じてマップを作成した。マップは無償配。市役所や能勢電鉄など企業や協力店舗へ設置。</p>		

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	一般参加者
スケジュール	5	4	27	総会／まち歩きマップ委員会：ミーティング※ 随時 マップ紹介の場となる「お城桜まつりミーティング」 ※月1度 実施予定（主催の大学1～3名、コミュニティ各3～5名、本会から約3名： 毎回約15名）	3	12
	5	6	3	マップのルート策定のための散策実施	5	
	5	6	4	文化財エリアの整備活動 ※随時	6	
	5	6	7	ゴール地点について地域の方や市へヒアリング	3	
	5	6	18	会の総会：マップ委員会ミーティング	15	
	5	7	20	会の講習会を実施	15	
	5	10	29	コース策定のための散策、ミーティング	5	
	6	1	10	マップデザイン着手（会のメンバー）	2	
	6	2	20	市・関係個所へデザインチェック・調整	2	
	6	3	14	まち歩きマップ委員会：ドラフト確認・調整	7	
	6	3	22	マップのデザイン調整後、印刷	2	
	6	3	31	関係個所へマップ配布	7	
	6	3	31	「お城桜まつり」会のブースでマップの紹介 ※随時：第一弾、第2弾のマップ増刷・無償配布	7	4,300

事業効果	市の魅力的なストーリーを再発見し磨き上げ、発信することで川西市の副題「清和源氏のふるさと」のブランディングと整合性を保てるよう事業を工夫して実施した。また市内外の方にマップを活用いただくことで、自然、文化・歴史を軸とした市民の愛着形成に繋げることができたうえ、健康促進と公共交通の利用促進の助けとなった。	
SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果	1 SDGs の推進 (取組内容) 持続可能な都市：目標 11 のターゲットの「11-2」で公共交通の利用促進を盛り込むことで、持続可能な交通手段使えるようにすること。「11-4」で文化や自然を保護（整備）し保っていくための努力を強化すること。	(効果) まち歩きマップを利用し公共交通の促進をめざすことができた。キセラ川西エコまち建築賞を受賞した川西市の「低炭素まちづくり事業」に関連した内容となった。メンバー 3 名は当時のキセラの交通部会の参加メンバー。
	2 阪神地域ビジョン 2050 の実現 (取組内容) シナリオ 5 未来まで続く花と緑と里山：本年は「日本一の里山」の川西市北部エリアをマップに盛り込む。 シナリオ 13 いきいき健康 100 年人生：まち歩きマップで市を周遊いただく。	(効果) まち歩きマップに掲載することで里山の魅力や重要性等を発信できた。 マップを使用した散策で文化・歴史を学びながら健康の促進をめざすことができた。
課題及び今後の展望	代表の家族の介護が必要になった点や、他主要なメンバーの忙しい時期が重なりまち歩きイベントの実施まで届かなかった。対策としてメンバーを増やすことや地域との連携を深めてカバーし合える関係づくりを行っていくことの大切さを感じ、メンバーとも共有し合った。	

(活動状況写真)

お城桜まつり打ち合わせ（大阪青山大学にて）：3つのコミュニティ会長や大学の地域振興課様などが参加





お城桜まつり：アサヒ飲料様も三ツ矢サイダーのサンプリングでご協力を得た



会の定例会の様子



三ツ矢塔前公園の整備活動
(市指定の文化財第一号)



整備の様子



整備後



団体名 まちの宝物サポート隊

◆ 団体設立 西 2020 年 10 月 1 日 ◆

活動分野 文化・歴史

設立目的 2019 年に第 2 次川西市総合戦略を策定するため開催された市民会議「文化・歴史の活かし方」班、有志のメンバーで活動をスタートしました。文化財エリアの整備を軸として、歴史や文化など川西市の魅力を伝える活動や、市と協働事業も進めています。

事業名		(黒川里山マルシェ)				
団体名	NPO 法人 コクレオの森			代表	藤田 美保	
協働団体	黒川自治会、近畿大学学生サークルクレイバル、徳林寺、里山ブルーベリー農園 Wacca、黒川ピア (MAMI)					
活動地域	川西市黒川					
事業の 目的・趣旨	<p>川西市黒川は、日本一の里山と言われる地域である。しかし、地域住民が高齢化し担い手不足が深刻化している。一方で、都市部には、週末に農業をすることを希望している人も多数存在している。</p> <p>そこで、地域住民や地域の事業者、大学などとも連携し、川西市黒川の野菜や特産物、加工品などを出店し、里山体験もできるマルシェを開催することで、地域外の人に黒川地域の魅力を伝えることで、地域の担い手を増やしていく。</p>					
事業内容	<p>・運営組織の結成 川西市黒川里山センター、黒川自治会、近畿大学に加え、黒川地域で活動する団体及び事業者とともに、実行委員会を組織した</p> <p>・「黒川里山マルシェ」の開催 開催日時：2023年11月12日(日)10時~15時半 開催場所：黒川里山センター(川西市黒川谷垣内295) 内容：黒川地域の特産物や野菜、加工品などの販売、里山体験(野草探しワークショップ)、地域発見ミニツアー(自然観察会)などを行い、里山ミニライブなど日本一の里山と言われる黒川地域の魅力を紹介するマルシェを開催した。 参加者：地域住民、地域外からの一般参加者など 約300名。</p>					
スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	一般参加者
	23	9	13	自治会、お寺(徳林寺)との打ち合わせ	4	300
	23	9	20	近畿大学との打ち合わせ 市への協力依頼	5	
	23	9	27	地域事業者との打ち合わせ	7	
	23	10	4	地域団体との打ち合わせ	8	
	23	10	11	第1回実行委員会：開催概要・開催体制の協議	11	
	23	10	13	執行部打ち合わせ：役割分担などの協議	3	
	23	10	25	第2回実行委員会：イベント内容の協議	11	
	23	10	27	執行部打ち合わせ：チラシ作成などの協議	3	
	23	11	1	第3回実行委員会：ボランティア配置の確認	18	
	23	11	12	「黒川里山マルシェ」の開催	20	
23	12	13	第4回実行委員会：反省会 報告書の協議	4		
24	1	19	報告書の作成	2		

<p>事業効果</p>	<p>日本一の里山と言われる黒川地域の魅力を、市内外の人に伝えることができた。 黒川地域近隣で活動する人たちの交流ができた。 黒川地域近隣で営業するお店の紹介につながった。 里山に関するワークショップ（自然観察、野草探し、ヨガ）などを行うことで、自然を身近に感じることができた。</p>	
<p>SDGs の推進、 阪神地域ビジョン 2050 の実現に向けた取組の効果</p>	<p>1 SDGs の推進 (取組内容) 里山地域の野菜や特産物、加工品などの販売と里山体験ワークショップを開催した。自治会・地域の事業者・NPO・大学などと多様な担い手と協働し、地域の魅力を伝えるマルシェを開催した。(目標番号 15.17)</p>	<p>(効果) 地域外の人に、里山地区の歴史や文化、暮らしを伝えることで、自然と共生の重要性を伝えた。 イベントでの交流を通して、地域内外人が世代を超えてつながり、魅力ある地域につなげることができた。</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン 2050 の実現 (取組内容) 商品などの販売や体験ワークショップを通して、里山地域の魅力と価値を伝えた。里山体験への参加や商品の購入などを通して、地域内外の人が世代を超えて交流した。(シナリオ番号 5.9)</p>	<p>(効果) イベントへの参加を通して、里山地域の価値を見直し、里山保全に向けた活動を促せた。また、地域内外の人が世代を超えてつながり、地域の魅力を実感することができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方の参加が想定よりも少なかったので、地域住民の方の参加率が高まる努力を行っていききたい。 ・里山で活動する他団体の活動紹介にも、今後は力を入れていききたい。 ・想定よりも参加者が多く、昼食になるものが早々に売り切れたので、地域の方の協力も得ながら、改善していききたい。 	

(活動状況写真)



自然観察ワークショップ



里山ミニライブ

団体名 NPO 法人 コクレオの森

団体設立 西暦 1999 年 10 月 20 日

活動分野 子育て支援・まちづくり

設立目的 「誰もが自分らしく生きられる社会」、「平和で持続可能な社会」を創ることを目指して、オルタナティブスクール「箕面こどもの森学園」を運営する『こどもの森』、対話の文化を広げる『おとなの森』、親と子の幸せを支援する『こそだての森』、民主的な学校づくりや持続可能なまちづくりを支援する『ミライの森』の4つの活動を行なっています。

事業名		(しゃらりん青空マーケット)					
団体名	NPO 法人しゃらりん多田東			代表	本間 和男		
協働団体	多田東コミュニティ協議会						
活動地域	川西市東多田地区 (多田東小学校区)						
事業の 目的・趣旨	<p>まちづくりをもっと広く推し進めるためには、大きな拠点が必要と考え、その為には、属している多田東コミュニティ協議会のような、任意団体では、賃貸、売買契約がままならず、法人格を持つことで、それが可能になった。更に外部団体との折衝、補助金の申請なども容易になった。</p> <p>結果として、地区の真ん中に位置するスーパーマーケット、イズミヤの4階 (200 m²) を借りることができた。そして離接する屋上をかりてフリーマーケットを開催するに、至る。(屋上駐車場は100台の駐車スペースの広さです)</p>						
事業内容	<p>春秋年2回開催をPRして、多田東コミュニティ協議会の各メンバーに宣伝をして、出店者募集をかけた。更に近隣のグリーンハイツ、猪名川町、能勢町の人達に知り合いを通じて募集を広めた。強みは駐車場その場で出店なので、無駄な駐車場代、荷運びが要らず、簡便さをアピールした。</p> <p>そして、地域の人達によるアトラクションを企画して、会場の端で、和太鼓、フラダンスダンス、バトンのメンバーにパフォーマンスをお願いした。</p> <p>地域のお祭りのような、雰囲気を作り、皆さんで作り上げる喜びを楽しめたらと考えた。結果、遠方からの観客もあり、賑わいを見せた。</p>						
スケジュール	実施日 (年-月-日)			事業概要		参加人数 (人)	
						スタッフ	一般参加者
	5	5	5	チラシ作成、印刷	公募始める	5	
	毎月			スタッフ会議		5	
	5	5	30	アトラクション団体との打ち合わせ		12	
	5	6	7	イズミヤさんとの打ち合わせ		4	
	5	11	3	開催日の決定通知		3	
	5	11	5	開催日		12	800
5	11	12	スタッフ会議	反省会	10		

事業効果	各種団体との連携により、地域が一体となって、お祭りの楽しさ創出することが出来た。多くの方に参加いただいたことにより、多世代交流や地域の賑わいづくりを創出することができ、イベントの大切さを再認識した。今後も、わが町にある楽しい場所をもっと知ってもらいたい。	
SDGsの推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果	1 SDGsの推進 (取組内容) 多田東コミュニティ協議会の団体のみならず、周りの団体も巻き込み企画した。(目標番号17)	(効果) 沢山の参加をみて、お互いの立場の大事さを認識して、一体感の心地よさを再認識した。
	2 阪神地域ビジョン2050の実現 (取組内容) フリーマーケットの販売やアトラクションを通じて、多世代の交流賑わいづくりに取り組んだ。(シナリオ17)	(効果) 自分たちの町の良さを再認識、交流の楽しさを創出できた。
課題及び今後の展望	時期的に多数の地域のフリーマーケットと日が重なり、いかに当方の魅力をアピールするかが、大切だと分かった。財政的に脆弱なため、運営方法を通じて、豊かな内容を目指したい。	

(活動状況写真)

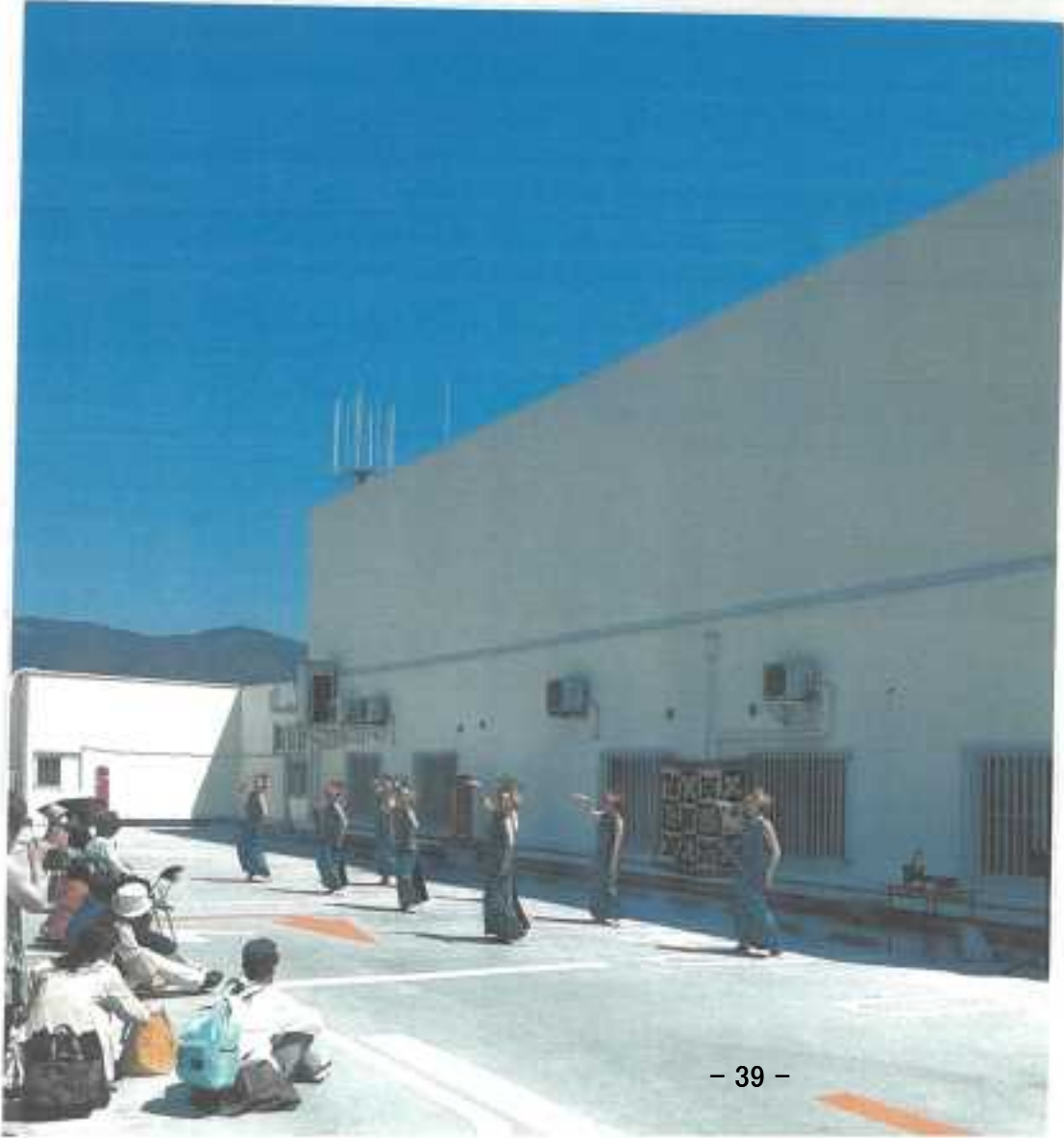
別紙参照

団体名	NPO 法人しゃりりん多田東
-----	----------------

団体設立	西暦 2021 年 4 月 13
------	------------------

活動分野	まちづくり
------	-------

設立目的	多田東地区の活性化を目指し、活動をより強固な、世に認識を高めるため、NPO 法人化をしました。
------	---



事業名	(子どもの生きる力を育む子育て応援事業)
------------	-------------------------------

団体名	サークルささるんと	代表	松井由子
協働団体			
活動地域	宝塚市、川西市、猪名川町などの古民家、公民館、キャンプ場、公園など		
事業の目的・趣旨	<p>コロナ禍で出来ないことが多くありコロナ禍を脱しつつある今も、なかなかやりたいことができない、してもいいのかな？と不安で前に進めない子ども達や親子がいると感じる子どものやりたいを叶え、どんな状況でも強く生きる力を育む場所にするを目的として活動している</p> <p>不登園や、不登校の子どもが笑顔で過ごせる場所でもありたい</p> <p>地域の子どもや親に対し、自然を感じながら安心して遊べる場所を提供する</p>		
事業内容	<p>毎月2回サークル活動やイベント活動を実施</p> <p>不定期で週末や家族で参加できるようなイベントを開催</p> <p>○サークル活動</p> <p>散歩、遠足、畑や田んぼの見学、絵本や紙芝居の読み聞かせ、パネルシアター</p> <p>ウクレレ演奏会、味噌づくり、お味噌汁作り、おはぎづくり</p> <p>お月見だんご作り、不用品譲渡会(どうぞの会)、屋外クッキングなど</p> <p>○イベント</p> <p>6/3 キャンプファイヤーとキャンプ(火おこし、羽釜ごはんとかレー)</p> <p>8/23 子どもが主役の夏まつり(子どもが出店、みんなですいかわり)</p> <p>11/23 ピザ窯でピザの会(ピザ生地を作るところから)</p> <p>12/21 クリスマス会(パネルシアター、折り紙製作、クリスマスソング演奏)</p> <p>3/23 英語をたのしもう! 英語で Spring party</p>		
スケジュール	実施日(年-月-日)	事業概要	参加人数(人)
			スタッフ 一般参加者
	5 9	さくらんぼ狩り	1 9
	5 25	よもぎだんごづくり	2 8
	6 3-4	キャンプファイヤーとキャンプ【知明湖キャンプ場】	3 67
	6 13	みんなでゆったり裁縫の日	1 10
	6 29	ウクレレでのんびり歌う	1 3
	7 11	縁側でプール	1 10
	7 27	川遊び	1 15
	8 8	飯盒炊爨と棒まきパン	1 19
	8 23	子どもが主役の夏まつり	3 33
	9 12	きずきの森ハイキング	1 4
	9 28	お月見団子づくり	1 7
	10 26	きずきの森で遠足	1 4
	11 23	ピザ窯でピザの会	1 12
	12 5	どうぞの会(不用品譲渡の会)	1 13
	12 21	クリスマス会 じゅんちゃんのパネルシアター	2 20
	1 25	ささるんと味噌の仕込み	2 9
	2 13	おはぎづくり	1 10
	2 23	羽釜ごはんとお味噌汁とポップコーン	1 19
	3 5	ひなあられとお味噌汁を作る	1 10
	3 23	英語で Spring party【川西公民館】	1 30

事業効果	日本の四季に合った活動や自然な環境で多くを過ごすことで、生物の多様性、食べ物の大切さ、ありがたさ、作り手への感謝の気持ちを親子で共有することができた コロナ禍でいろいろがまんしていた子ども達が、少しずつ前に出てやりたいこと、楽しいことにどんどん参加したり、挑戦したりできるようになってきたと感じる 親も子もだんごになって育ち合う姿は今後の生きる力につながると信じている	
SDGsの推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果	1 SDGsの推進 (取組内容) SDGs 13 使い捨てない、ゴミを出さない、持ち帰るを原則とし、お皿、マイカトラリー持参、ゴミは持ち帰る	(効果) ゴミ箱を作らなくてもそれぞれが持ち帰るので自然にゴミを減らす工夫ができていく 使い捨て容器などは使わない等、新しいメンバーもすぐになじんで、日常に落とし込んでくれている どうぞの会(12/5)ではメンバー間で不用品を譲渡しあい、お互い楽しく物を大切にしている
	2 阪神地域ビジョン2050の実現 (取組内容) SDGs 15 自然にふれあう遊びや絵本 キャンプや川遊び、山歩きやハイキングで季節を感じる活動を行う	(効果) 天候に左右されることもあるが、川や山に出かける事で自然の豊かさにふれ、過ごした キャンプ(6/3)では台風後の増水した川の危険性なども体感として学んだ
課題及び 今後の展望	参加費収入を上げていくなどして、助成金に頼り過ぎず自立して運営できるように目指す グループ自体が疲弊しないようにスタッフも有償にしていくことを目指す	

(活動状況写真)

別紙にて報告

団体名	サークルささるんと
-----	-----------

団体設立	西暦 2021年 10月 21日
------	------------------

活動分野	子どもの健全育成
------	----------

設立目的	コロナ禍で親子ともに出かけられる場所が減り、人と人の関係が希薄になる中で子育て世帯(特に新米ママ)が孤立する状況を見て、親は不安や情報を共有し、子どもは子どもらしくのびのびと過ごせる場所を作りたいと立ち上げた
------	--

5月9日 さくらんぼ狩り



5月25日 よもぎだんごづくり



6月23日 キャンプファイヤーを楽しむ夏キャンプ @知妙湖キャンプ場



台風の影響でしたが
晴天になり
みんなでカレーと惣
菜ごはんを作って食べ
夜はキャンプファイヤーをか
こむことができました！！
楽しかったね
参加者67名！



6月13日 裁縫の日

母も子も
家のボタン付けや
ぞうぎんをぬいました



6月29日 ウクレレでのんびりの日



7月11日 緑園でプール



7月27日 川遊び @国崎せせらぎ広場



8月8日 飯盒すいさんと陣まきパン



8月23日 子どもが主役の夏まつり



すいかわり



子ども店員活躍しました！！
スーパーボールすくい屋さん

- ひよこつり
- 新聞紙のえこばっくやさん
- ヨーヨーつり
- スーパーボールすくい
- ポップコーン
- カレー屋さん
- 枝豆、キュウリのつけものやさん
- すいかわり
- 花火

9月12日 きずきの森でハイキングとクラフト @きずきの森



9月28日 お月見団子



10月26日 遠足 @きずきの森



11月23日 ピザがまでピザの会



12月5日 「どうぞの会」 不用品の譲渡会 withどうぞの会☆宝塚さん



家にある不用品を持ち寄り
どうぞの会（譲渡会）を開催
不用品が新しくほしかったものに
変わる！
母も子もにこにこの会です



12月21日 クリスマス会



じゅんちゃんのパネルシアター



パネルシアター
折り紙クラフト
お味噌汁づくりなど



1月25日 味噌の仕込み



いつもお味噌汁として食べている
お味噌の仕込みをしました
食べられるのはいつ頃かな？考えながらつくりました

2月13日 おはぎづくり



2月23日 羽釜ごはんとお味噌汁とポップコーン



休日の
ささるんと

おがずもちよりで
ごはんとお味噌汁とポップコーンのタッピング



3月5日 ひなあられづくり



3月23日 Spring イベント with English fun Kirakira

国境をこえてつながろう！
楽しく過ごそう！
どどんみんな参加して、楽しいパーティになりました！



事業名		(地元作家発掘プロジェクト 佐崎紘一展)				
団体名	アートシティさんだ研究会			代表	山口 武宏	
協働団体						
活動地域	三田市					
事業の目的・趣旨	<p>地域をアートで溢れる街にを目標に、三田ゆかりのある芸術家を応援し、世代を越えた多くの市民に芸術文化にふれる機会をつくっていきます。</p> <p>これまで三田ではあまり知られていなかったゆかりの洋画家・佐崎紘一さんの作品、人物を紹介しました。</p>					
事業内容	<p>アートシティさんだ研究会の企画展覧会第2弾を開催しました。</p> <p>佐崎紘一さんの作品約100点を展示。</p> <p>佐崎さんが半世紀前に活動していた前衛美術グループ「鉄鷄会」や、生まれ故郷ハルピンでの敗戦経験についても、わかりやすく解説しました。</p> <p>開催日時：令和5年10月12日(木)～10月17日(火)</p> <p>開催場所：三田市総合文化センター 郷の音ホール展示室</p> <p>入場料：500円(18才以下、障害者は無料)</p> <p>入場者：427名(実績)</p>					
スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	一般参加者
	5	4	15	クラウドファンディング開始		
		5	10	アート研究会事務局会議	10	
		5	31	アート研究会定例会議	15	
		6	14	アート研究会事務局会議	10	
		6	28	アート研究会定例会議	15	
		7	12	アート研究会事務局会議	10	
		7	26	アート研究会定例会議	15	
		8	9	アート研究会事務局会議	10	
		8	29	アート研究会定例会議	15	
		9	13	アート研究会事務局会議	10	
		9	27	アート研究会定例会議	15	
	10	10	展覧会開催準備	20		
	10	12	「佐崎紘一の物理学展」開幕	20	427	
	10	17	「佐崎紘一の物理学展」閉幕・片付け	20		
	10	25	アート研究会定例会議(展覧会総括)	20		

事業効果	<p>アートシティさんだ研究会は2年連続で地元アーティストの掘り起こしを行い、第2弾も入場者数472名と多くの方にご来場頂きました。</p> <p>地域に美術館がありませんが、少しはアート溢れる三田に近づけたと実感します。アートシティさんだ研究会の1事業として大きな成果を挙げました。</p>	
SDGsの推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果	<p>1 SDGsの推進</p> <p>(取組内容) 地域にゆかりのある芸術家を発掘し、展覧会を開催する。展覧会を開催することで多くの市民、愛好家はその成果を伝え、地域の文化振興・教育の一翼を担うことを目指す。 (目標番号: 4)</p>	<p>(効果) 多くの市民・愛好家にその成果を伝え、地域の文化振興・教育の一翼を担うことができました。今後も積極的に芸術文化に触れる機会を提供したい。</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン2050の実現</p> <p>(取組内容) 定期的に展覧会企画を実施することで、市民がアートに取り組みやすい環境づくりを進め、アートあふれる三田の街の実現を目指す。 (シナリオ: 14)</p>	<p>(効果) 市民にアートに取り組みやすい環境づくりを進め、アート溢れる三田の街にまた一步近づけたと思います。</p>
課題及び今後の展望	<p>「地元作家発掘プロジェクト」第2弾の展覧会を終え、アートシティさんだ研究会では、次なる発掘作家の選定を進めています。2024年は、三田市出身で大阪・難波橋のライオン像で知られる明治・大正期の彫刻家、天岡均一（あまおかきんいち）の没後100年の節目の年にあたり、研究・顕彰を検討しています。</p>	

(活動状況写真)

別紙のとおり

団体名	アートシティさんだ研究会
-----	--------------

団体設立	西暦2021年4月21日
------	--------------

活動分野	アート溢れる街づくり
------	------------

設立目的	アート溢れる街を実現し、市民に三田のポテンシャル、眠っている地域資源を再認識してもらおう。
------	---





事業名 [春のあかしあバスツアー・秋のあかしあバスツアー]

団体名	あかしあ台体育振興会	代表	竹中 克明
協働団体	あかしあ台自治会、あかしあ台・さくら坂まち作り協議会、あかしあ台ふれあい活動推進協議会、あかしあ台健康推進員、あかしあ台小学校 PTA		
活動地域	三田市 あかしあ台小学校区		
事業の 目的・趣旨	<p>三田市あかしあ台小学校校区（あかしあ台、さくら坂 約 3000 所帯）住民の健康増進と相互親睦を図る目的で 2003 年度より継続して当該行事を続けてきましたが 新型コロナウイルス蔓延による影響と規制により丸 2 年間、中止とし昨年ようやく当該事業も再開することが出来ました。自治会、まち作り協議会、ふれあい活動推進協議会、健康推進委員、PTA の皆様とも連携して行事を盛り上げてまいります。</p> <p>また、当該地区でも高齢化が進み日ごろ外出する機会の少ない高齢者の皆様や子育てで多忙な毎日をご過ごしておられる皆様、お体の不自由な方にもあかしあ台体育振興会のメンバーがサポートして積極的にご参加いただけるように進めて参ります。</p>		
事業内容	<p>* あかしあ台体育振興会が中心となり あかしあ台自治会、まち作り協議会、ふれあい活動推進協議会、健康推進委員、PTA も協力して運営組織を結成。</p> <p>* 春と秋の 2 度、チャーターバスを利用して地域資源に触れ、学び、考え、且つ地域住民間の多世代交流と親睦、共助を目指した地域環境づくりを目的に事業を展開。</p> <p>（昼食時に公園内でバス号車毎の“ハンカチ落としゲーム”やバス走行中を利用し バス列で紅白チームに分かれ“歌当てゲーム”やグループに分かれての探索地での経由地ポイント地点めぐり等様々な思考を凝らし小さなお子様からご年配の方まで地域の皆様が一緒に楽しめる 1 日旅としました。）</p> <p>具体的には</p> <p>1. 春のあかしあバスツアー：緑と花と海を感じる 1 日旅 開催日 2023 年 5 月 14 日（日）午前 7 時 30 分～午後 18 時 訪問地 長谷牡丹園（猪名川町）、盤滝（宝塚市）、六甲最高峰、相楽園、神戸港等 参加実績数 240 名（事前応募方式）</p> <p>2. 秋のあかしあバスツアー：志摩魅力再発見の 1 日旅 開催日 2023 年 11 月 18 日（土）午前 7 時～午後 7 時 訪問地 志摩市 サミット記念館、志摩地中海村、桐垣展望台、ビィゾン三重 参加実績数 240 名（事前応募方式）</p> <p>両行事共に企画から実行まであかしあ台体育振興会メンバーが中心となり例えばバス中でのガイド役、訪問地での誘導役なども全て手作りで一切の旅行会社などを介さない行事とし、行程中は参加者との対話を最も重視して参加者も一体となり楽しめる行事となるよう進めました。</p>		

	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）	
			スタッフ	一般参加者
スケジュール	5.4.15	一般参加者募集・受付	15	
	5.4.22	主要スタッフ下見	10	
	5.4.23	体育振興会スタッフミーティング	20	
	5.5.7	関係団体も含めたスタッフミーティング	30	
	5.5.13	最終スタッフ打合せ	20	
	5.5.14	春のバスツアー開催	20	220
	5.5.28	反省会	20	
	5.6.10	秋のバスツアー 下見	10	
	5.6.18	体育振興会ミーティング	30	
	5.7.22	体育振興会ミーティング	30	
	5.9.17	共催団体との打ち合わせ	40	
		一般参加者募集受付	15	
	5.10.29	スタッフミーティング	20	
	5.11.5	スタッフミーティング	20	
	5.11.18	秋のバスツアー開催	20	220
	5.11.26	スタッフ反省会	30	

事業効果	当該地区においても自治会やその他の組織での担い手も少なくなってきたおり小さなお子様から高齢者の皆様まで幅広い年代の住民が参加できる行事が年々少なくなっている中、“共に時間や行動、楽しみを共有する”ことにより相互親睦を深め、地域での共助の心も芽生えてきていると思います。また、参加できなかった住民の皆様も当該地区でのこのような活動が行われていることで今後も楽しみにしていただける等多くの反響をいただきました。	
SDGsの推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果	<p>1 SDGsの推進</p> <p>(取組内容) 自治会、まち作り協議会、健康推進員、ふれあい活動推進協議会との共催して地域住民の相互交流と共助の精神を発展させ地域の活性化を目指す。(目標番号:3)</p>	<p>(効果) 街の高齢化が進む中、多世代間交流と日頃閉じこもりがちな高齢者や身体障がい者等も参加して誰もが健康で明るく生活できる地域づくりに寄与できました。</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン2050の実現</p> <p>(取組内容) 高齢化が進む当該地域にも新たに宅地開発も進み世代の多様化が進んできている。そのような中、自治会他の地域活動団体と共催で多世代交流の場を安定して提供し皆が安心して暮らせる、助け合える地域を目指す。(シナリオ:9)</p>	<p>(効果) あかしあ台体育振興会には10歳代の学生から90歳の高齢メンバー迄老若男女が、また職業も多業種のメンバーが参加しており世代を超え携わる仕事も異なるメンバー構成により日頃より多種多様な意見交換や肉付、事業を組み立てて運営しています。今回のイベントにおいても大いに多世代交流を図れました。</p>
課題及び今後の展望	今回の2つのバスツアーを通じ参加希望の住民が応募受付当日に殺到しそれぞれ約50組の申込者がキャンセル待ちやあきらめて帰られることとなった。今後、自立した運営が可能となる目安も少しずつではあるが立ってきたことで是非、この行事が地域住民にとっての基幹交流の場となるようにメンバー、関係団体の皆さんと推進してゆきます。	

(活動状況写真)

(春のバスツアー)





(秋のバスツアー)





団体名 あかしあ台体育振興会

団体設立 2003年4月1日

活動分野

設立目的 三田 あかしあ台小学校区（あかしあ台・さくら坂）の地域活動を通じて住民の健康増進と相互親睦・交流を推進するために設立。

事業名 (ふれあい大会)

団体名	ふれあい大会実行委員会	代表	西 克宏			
協働団体	高平区長会の他高平地区の20団体					
活動地域	兵庫県三田市高平地区					
事業の目的・趣旨	親子でふれあうキャンプファイヤーからスタートして、親子のみの開催から地域の方々にもご協力頂き大会を重ねて、コロナ禍で開催出来ない1年も乗り越えて、子ども達の笑顔の為、地域の方々には大きな力を貸して頂き、少子高齢化の中で今まで子ども達の為に、ご尽力頂いた地域の方々と共に今後は多世代交流が図れる大会として今まで続けて下さった方々と共に継続していきたい。					
事業内容	<p>ステージ発表、出店を通じて、地域の方々との交流や多世代交流を図るため、「ふれあい大会」を開催する。</p> <p>日付：令和5年11月4日(土)</p> <p>場所：高平小学校グラウンド</p> <p>大会名：37回 ふれあい大会</p> <p>参加者：区長会、消防団、地域の方々など延べ、600人</p>					
スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	一般参加者
	2023	6	23	ふれあい大会実行委員会 第1回役員会	25	600
	2023	8	3	第37回ふれあい大会開催内容協議・決定 こどもゆめすい発足 活動内容協議	5	
	2023	8	10	花火申請書作成・提出	3	
	2023	9	8	ふれあい大会実行委員会 第2回役員会 準備状況進捗報告・質疑応答等	25	
	2023	10	4	警察・市役所・保健所申請書作成・提出	3	
	2023	10	13	ふれあい大会実行委員会 第3回役員会 準備状況進捗報告・各団体役割指示等	25	
	2023	10	22	こどもゆめすい店舗看板作成・役割分担協議	10	
	2023	10	28	花火通行止め予告看板設置	5	
	2023	11	3	前日準備	15	
	2023	11	4	ふれあい大会当日	70	
	2023	11	5	片付け	35	
	2023	11	10	各支払い等完了	3	

事業効果	<p>多世代(未成年児～高齢者)が交流ができる【楽しみな場】となった。 卒業後に久しぶりに出会い楽しむ【想いの場】となった。 交流のなかで近所や知り合いでない方との【出会いの場】となった。 昔のことを知れる【発見の場】となった。 今まで続けて頂いた方の懐かしさ、嬉しい【思い出の場】となった。 地域の方々が力を合わせて【助け合う場】となった。</p>	
SDGsの推進、 阪神地域ビジョン2050の実現に向けた取組の効果	<p>1 SDGsの推進 (取組内容) 高平地区の団体等で構成・運営し 多世代間交流を深め地域の活性化 (目標番号: 11)</p>	<p>(効果) コロナで一度断絶した人々の交流・再会・ふれあいを、コロナ以前のように取り戻せつつあった。 ふれあい大会が地域全体の祭りとなるように。 以後も継続し地域の活性化につなげる。</p>
	<p>2 阪神地域ビジョン2050の実現 (取組内容) 小学生・中学生を中心に、ふれあい大会での企画や出店等に参加する。 (シナリオ: 9)</p>	<p>(効果) 小学生・中学生を中心に、こどもゆめすいを発足し、出店の企画立案・運営・準備を行う事で、誰でも企画・運営に参加出来る点をアピール出来た。</p>
課題及び今後の展望	<p>一般公募の出店者・出演者を募集したが、想定より少なく会場の一部が閑散としていた。その為、今後は、もっと公募の宣伝等広め方を考案していきたい。</p>	

(活動状況写真)

・ふれあい大会実行委員会 役員会



・こどもゆめすい



・こどもゆめすい店舗看板作成・役割分担



・花火通行止め予告看板設置



・前日準備



・当日準備



・当日







・片付け



団体名 ふれあい大会実行委員会

団体設立 西暦 1985 年 7 月 13 日

活動分野 子どもの健全育成
地域の方との多世代交流

設立目的

親子でふれあうキャンプファイヤーからスタートされているようです。親子のみの開催から地域の方々にもご協力頂き大会を重ねて、コロナ禍で開催出来ない1年も乗り越えて、子ども達の笑顔や地域の方々の大きな力を貸して頂き、昨年度は36回大会を開催させて頂きました。少子高齢化の中で今まで子ども達の為に、ご尽力頂いた地域の方々と共に今後は多世代交流が図れる大会として今まで続けて下さった方々と共に継続していきたい。